

病院経営管理士通信教育

第47回生募集について

日本病院会の「病院経営管理士通信教育」は、すべての職種を対象に病院管理運営を円滑かつ積極的に実行する能力および適応力をそなえた病院経営管理士を養成することを目的とした2年間の通信教育です。

本通信教育は、病院という組織医療を実践する上で、経営管理者に求められる幅広く深い知識が履修できるよう、多彩なカリキュラムと一流の講師陣による教育で病院経営をリードする人材を育成します。

修了者には日本病院会認定の「病院経営管理士」の資格を付与し、1978年（昭和53年）開始当初の事務長養成課程から数え1,200名以上の方が各分野で活躍されています。

つきましては、向学の志を持つ貴院の職員が受講されますようご高配賜りたくお願い申し上げます。



病院経営管理士教育委員会 委員長 木野 昌也

1. 開講月日 2024年 7月 1日
2. 申込締切 2024年 5月 31日（締切間際の申込は要連絡）
3. 修業期間 2ヶ年
4. 受講料 1ヶ年 484,000円（税込）
（但し前期・後期分納として、242,000円毎納入）
5. 募集定員 50名程度（先着順）
6. 受講資格 次のいずれかに該当する方
 - (1) 施設等の長が推薦した者
 - (2) 病院経営管理士教育委員会が認めた者

※本通信教育は、事務長養成課程から通算第47回となる。平成21年度より修了者に「病院経営管理士」として認定。

病院経営管理士通信教育とは

病院経営管理士通信教育は、病院の管理運営を円滑かつ積極的に実行する能力および適応力をそなえた「病院経営管理士」を養成することを目的とした2年間の通信教育です。

本講座は1978年（昭和53年）の「事務長養成課程通信教育」に始まり、医療界を取り巻く経営環境の変化に対応するため、「病院経営管理者養成課程通信教育」、そして「病院経営管理士通信教育」へと講座名称やカリキュラムの変更を重ねて、今日に至っています。また、2009年（平成21年）より本講座を修了し合格基準を満たした卒業生には、日本病院会認定の「病院経営管理士」資格を付与しています。

わが国では、近年、医療技術の高度化と複雑化、医療の専門分化や患者ニーズの多様化等が急速に進み、社会保障制度改革を柱に医療制度改革、医療費抑制施策が行われるなど、病院経営は益々厳しい状況となっています。医療の質向上への努力は、病院にとって最も重要な社会的責任ですが、病院の健全経営なくしては成り立ちません。病院変革の厳しい時代のなかで、病院経営管理士は、病院経営の専門家として、健全経営の維持・向上を行うことが使命として求められています。

現在のカリキュラムは、Ⅰ. 医療関連科目、Ⅱ. 経営管理科目、Ⅲ. 経営管理演習、Ⅳ. 特別講座、Ⅴ. 卒論の大きく5つの柱で構成され、基礎学習と実務の両面できめ細やかな教育内容となっています。病院経営管理全般にわたって幅広く深い知識が履修できるよう編成し、なかでも経営管理演習は、より実践的な演習時間を多く取り入れ、病院経営に関する知識、実践力を高めることをねらいとしています。医療界の第一線で活躍されている講師陣をはじめ、一部の科目では本講座の卒業生が講師を務め、自分自身の受講経験と医療現場での実践経験を活かし、受講生を支えています。

受講生は、当初の事務長あるいは将来の事務長候補者を対象としたものから、次第に現職の病院長をはじめ医師や看護師など様々な医療技術職にも拡がり、病院全体の経営のみならず、各部門におけるマネジメントについても、病院経営に関する専門教育の必要性が増しているものと思われます。現在、開講以来1,247名の卒業生を輩出し、うち「病院経営管理士」資格認定者数は1,000名となり、多くの卒業生が、全国の病院施設や医療関連分野で、習得した知識を活用し、それぞれの施設・部門に適応した経営管理を実践し活躍されています。

2年間の通信教育は、日常業務に加えて、スクーリング、レポート提出、期末試験、卒論準備という苦労がありますが、共通の目的を有する同期生の存在は、力強い絆で結ばれ、新しい人脈の形成と不撓不屈の精神の醸成はもとより、今後の大きな支えとなるでしょう。

また、卒業生が組織する「病院経営管理士会」は、機関誌の定期発行、研修会の定期開催等々により、会員である卒業生のブラッシュアップなど、最新かつ最適な病院経営に関する情報発信を続け、日本病院会の様々な活動にも参画しています。

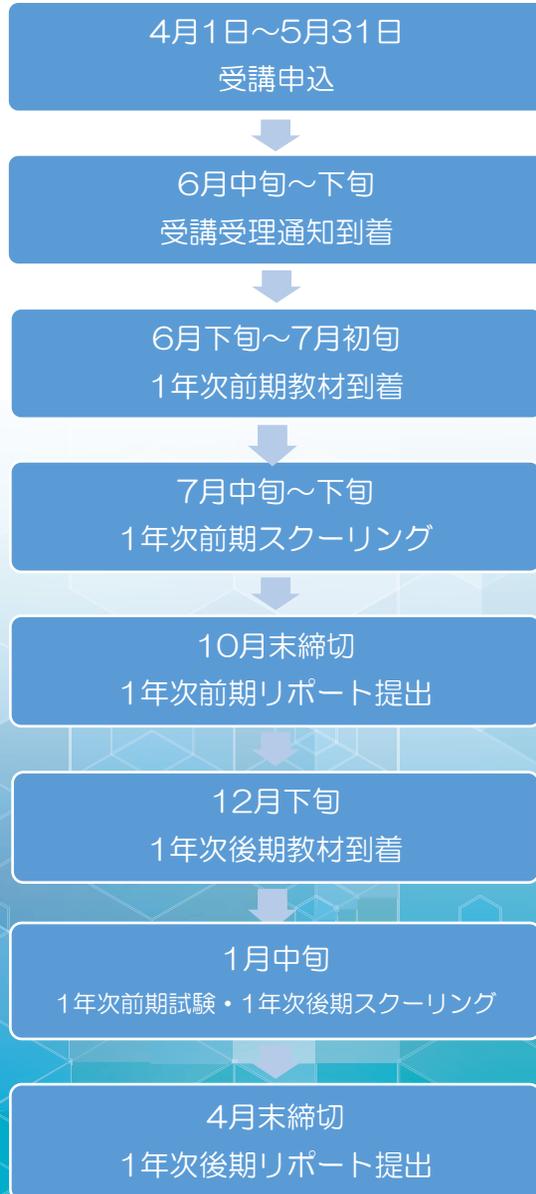
2024年4月1日



病院経営管理士教育委員会

受講の申込から卒業まで

1年次スケジュール（予定）



2年次スケジュール（予定）



レポート

該当科目のレポートを課題に沿って自学習し、期日までに仕上げます。
内容については担当講師により評価され、受講生に返却します。

スクーリング （面接授業）

1単位 3時間の講義を 49単位 144時間、半期に1度5日間、東京においてスクーリングとしておこない出席単位を取得します。一方的な講義だけでなく演習を設け、事例を研究・検討し、発表・討論する講義も実施します。

試験

習得した知識を確認するため筆記試験を行い合格者に所定の単位が与えられます。

卒業論文

2年間の集大成として、日常業務における研究・調査報告、事例報告、また、各科目の講義等から「病院経営管理に関する事項」のテーマを選び提出し、評価されます。



※①②③欄にご記入・チェックをお願いします。

受講番号

—

後日確定しますので、記入しないでください。

病院経営管理士通信教育 第47回生受講申込書

このたび病院経営管理士通信教育を受講いたしたく、裏面履歴書および写真1枚を添えて申し込みます。

年 月 日

①

ふりがな 氏名	②		
ふりがな 病院名 (経営主体、種別、病床数)	経営主体※1	種別※2	病床数※3
役職名			
所在地	〒		
電話番号・FAX	TEL:	FAX:	
教材・連絡文書 等の送付先 (勤務先・自宅)	〒		
	TEL:	FAX:	
	※事務連絡等をこちらのE-mailアドレスにお送りしますので正確にご記入ください。 E-Mail:		
管理者名	○ 理事長 ○ 病院長		

一般社団法人 日本病院会会長 殿

※1、※2は以下から選択して記入すること。

経営主体※1:厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国)、都道府県、市町村、地方独立行政法人、日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会、健康保険組合及び連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合、全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、医療法人、社会医療法人、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他法人、個人

種別※2:一般、特定機能、地域医療支援、精神、結核、専門

病床数※3:許可病床数の合計数を記入

② 「個人情報等の取扱いについて」に同意いただけましたら、「同意する」にチェックしてください。チェックがない場合は申込できません。

必ず忘れずに
チェック

同意する

【個人情報等の取扱いについて】

日本病院会・病院経営管理士通信教育におきまして、下記によりあなたの肖像(受講風景等の画像)ならびに個人情報を利用させていただきたく、内容をご確認のうえ、ご承諾いただきますようお願いいたします。なお、写真等の掲載および個人情報の取扱いについては、肖像権並びに個人情報保護の観点から本会として万全の措置を取らせていただきます。

記

1. 個人情報の利用目的について

肖像並びに個人情報の使用について日本病院会は、受講者からご提示いただいた名前、住所、電話番号、性別、その他の受講者個人に関わる情報(以下「個人情報等」)を、日本病院会 病院経営管理士通信教育に関する受講者への連絡、受講者管理、受講者間の親睦を目的として配布する受講者名簿の作成に利用させていただき、受講者の承諾なく、他の目的には利用いたしません。

2. 個人情報の委託について

日本病院会は、病院経営管理士通信教育受講に伴いお預かりした個人情報等を、以下のいずれかに該当する場合を除き、取り扱いを委託することはありません。
・連絡物の発送を宅配業者に委託する場合

3. 個人情報の提供の任意性について個人情報の提供がされない場合、受講することが出来ません。

4. 個人情報の開示等について

日本病院会は、個人情報等の開示、変更、削除の求めがあった場合には、受講者ご本人であることを確認させていただいたうえで、すみやかに対応いたします。また、入講後は、個人情報等を含む受講申込書類一式は原則、返却いたしません。

(個人情報保護管理者)

以上

③

◆レポート提出状況・試験結果の施設管理者への送付について◆

レポートの提出状況、試験結果および卒業時の最終成績書について、ご本人様あておよび施設管理者様あてそれぞれに郵送にて通知を行います。なお、受講料の支払いについて、所属施設のご負担ではなく、受講生ご本人様のご負担である場合は施設管理者様に通知することはありません。

レポート提出状況・試験結果の施設管理者への送付について、下記いずれかにチェックしてください。

①欄で記入した管理者様に送付

管理者(

)様あてに送付

必ず忘れずに
チェック

受講料を自費で支払うため、施設管理者への郵送は不要

病院経営管理士通信教育

第47回生 実施要綱

◆目的及び対象◆

病院経営管理に関する業務は広範多岐にわたっており、単に病院長、事務長にとどまらず病院における各職種の管理者にとっても病院医療、経営管理、マーケティング等病院組織全体にわたる知識と総合的判断力が不可欠となっております。

日本病院会では1978年（昭和53年）より2年制の通信教育により事務長を養成してきましたが、現在では多職種により構成される病院の管理運営を円滑かつ積極的に実行する能力及び適応力を備えた医療機関職員を養成することを目的に病院経営管理士通信教育を実施しています。

◆受講内容◆

1. 実施要綱

- (1) 修業期間 2カ年
- (2) 受講者選考 書類審査
- (3) 受講料 1カ年484,000円（税込）
（但し前期・後期分納として、242,000円毎納入）
※受講者選考後、該当者へ受講受理通知を送付する。
受講受理通知を受けてから、1年次前期分を指定口座に納入すること。但し、既納の受講料は返却しない。

2. スクーリング（予定）

- (1) 開催地 東京
- (2) 会場 一般社団法人 日本病院会
東京都千代田区三番町9-15
ホスピタルプラザビル セミナールーム
電話 03-6426-0703
- (3) 期日 2024年7月22日(月)～26日(金)

3. 資格

修了者は一般社団法人日本病院会認定の病院経営管理士として会に登録する。

4. 単位取得方法

- (1) 履修科目39科目（49単位）を習得しなければならない。（※別紙参照）
この49単位の修得方法は、
 - ①面接授業（スクーリング）の出席
1年を前期（例年7月）と後期（例年1月）に分け、各5日間東京で行われるスクーリングに出席すること。計4回のスクーリング出席となる。
 - ②レポートの提出及び合格評価
上記科目の全てについて、スクーリング前に該当科目のレポート問題が送付される。そのレポートをスクーリング後、自習により作成する。そのレポート評価が合格基準を満たすこと。
 - ③期末試験の合格
該当科目について講義されたスクーリングの試験を次期スクーリング前に実施。これを受験し合格すること。

④卒業論文の提出及び合格評価

上記3つの単位取得要件を満たし、かつ卒業論文を提出すること。

(2) レポートの提出

該当科目のレポートが送付されるので、教科書等で自習しレポートを作成する。レポートは期日までに会に送付すると該当科目講師によって添削され、本人に返送される。各科目毎の全レポート提出がない場合は、該当科目の期末試験は受けられない。

(3) 面接授業（スクーリング）

スクーリングは1年を前期と後期に分け各5日間東京で行う（年2回）。出席できなかった場合は次の学年のスクーリングを受講すること。但し、勤務の都合でスクーリングに欠席した場合、代替措置により出席とみなす。

(4) 期末試験

該当科目の全レポート提出およびスクーリングに出席しないと各科目の期末試験は受けられない。期末試験は学習スケジュールにしたがって該当科目が講義されたスクーリングの次期スクーリング前に受験する。可否の判定は、この試験に基づき一般社団法人日本病院会病院経営管理士教育委員会で行う。

○ 申込方法 ○

1. 受講申込書と履歴書に必要事項を記入のうえ、写真とともに事務局まで郵送すること。
※写真2枚必要。1枚は履歴書貼付、1枚は同封のこと。
2. 受講料は「受講受理通知」受領後すみやかに納入すること。
3. 申込締切日 2024年5月31日

< 申込および問い合わせ先 >

一般社団法人日本病院会
病院経営管理士通信教育 担当
〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15
ホスピタルプラザビル
TEL:03-6426-0703
FAX:03-6426-0735
<https://www.jha-e.com/mcmm/>

< 銀行振込先 >

三菱UFJ銀行 麹町中央支店
普通預金 口座番号 4352800
一般社団法人 日本病院会通信教育部

履修科目39科目（49単位）と講師について（2024年度予定）

教科目	講師(敬称略)	単位
I. 医療関連科目(医療に関する知識)		
1. 医学概論	杉田 克生 (千葉市療育センター センター長・千葉大学子どものこころの発達教育研究センター 特任教授)	1
2. 診療部門管理	木野 昌也 (北摂総合病院 理事長)	1
3. 看護部門管理	任 和子 (京大大学院 医学研究科人間健康科学系専攻教授)	1
4. 薬剤部門管理	和泉 啓司郎 (日本病院薬剤師会 専務理事)	1
5. 医療技術部門管理	石川 英男 (聖隷佐倉市民病院 執行役員・事務長)	1
6. 医事・事務部門管理	田崎 年晃 (済生会熊本病院 事務長)	1
7. 病院人事・労務管理	佐合 茂樹 (中部国際医療センター 事務長・病院長補佐)	1
8. 病院管理概論	小山 秀夫 (兵庫県立大学大学院 特任教授)	1
9. 栄養食事管理	中村 丁次 (公益財団法人日本栄養士会 代表理事会長)	1
10. 病院物品管理	直江 幸範 (社会医療法人きつこう会多根総合病院 経営改善担当院長補佐・法人本部 企画管理統括部統括部長)	1
11. 病院施設・設備管理	小室 克夫 (東邦大学医療センター大橋病院 リジョイスカンパニー大橋病院事務所 技術顧問)	1
12. 感染管理	洪 愛子 (神戸女子大学 副学長)	1
13. 診療情報管理	中川原 譲二 (梅田脳・脊髄・神経クリニック 院長)	1
14. 医療安全管理概論	橋本 迪生 (公益財団法人日本医療機能評価機構 常務理事)	1
15. 病院建築論	長澤 泰 (東京大学 名誉教授・工学院大学 名誉教授)	1
16. 医事関連法規	北澤 将 (国家公務員共済組合連合会 東北公済病院 事務部長)	1
17. 医事紛争	工藤 陽一郎 (新星総合法律事務所 弁護士)	1
18. 社会保障概論	府川 哲夫 (福祉未来研究所 代表)	1
19. 医療経済学	渋谷 明隆 (学校法人北里研究所 常任理事)	1
20. 医療・介護保険制度	吉田 裕人 (東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科 教授)	1
合計		20

II. 経営管理科目(経営管理についての知識)		
1. 組織管理論(1) 経営戦略と組織	明石 純 (関西学院大学 経営戦略研究科教授)	2
2. 組織管理論(2) 組織行動と人的資源管理	明石 純 (関西学院大学 経営戦略研究科教授)	2
3. 統計解析実践法	赤澤 宏平 (新潟大学医学部総合病院 医療情報部教授)	1
4. 病院経営分析	井上 貴裕 (千葉大学医学部附属病院 副院長・病院経営管理研究センター長)	1

教科目	講師(敬称略)	単位
II. 経営管理科目(経営管理についての知識)		
5. マーケティング論(1) マーケティング概論	吉長 成恭 (安田女子大学大学院 非常勤講師)	2
6. マーケティング論(2) マーケティング戦略	吉長 成恭 (安田女子大学大学院 非常勤講師)	2
7. 財務管理論(1) 基礎編	石尾 肇 (石尾公認会計士事務所 公認会計士)	2
8. 財務管理論(2) 実務編	西田 大介 (西田公認会計士事務所 公認会計士)	2
9. 病院経営管理概論	正木 義博 (済生会支部神奈川県済生会 顧問)	2
合計		16

III. 経営管理演習(経営手法)		
1. 組織管理演習(1)	明石 純 (関西学院大学 経営戦略研究科教授)	1
2. 組織管理演習(2)	明石 純 (関西学院大学 経営戦略研究科教授)	1
3. マーケティング演習(1)	吉長 成恭 (安田女子大学大学院 非常勤講師)	1
4. マーケティング演習(2)	吉長 成恭 (安田女子大学大学院 非常勤講師)	2
5. 財務管理演習	西田 大介 (西田公認会計士事務所 公認会計士)	2
6. 病院経営管理演習	正木 義博 (済生会支部神奈川県済生会 顧問)	2
合計		9

IV. 特別講座		
1. 病院機能評価概論	梅里 良正 (公益財団法人日本医療機能評価機構 客員研究主幹)	1
2. 先進医療概論	宮坂 信之 (東京医科歯科大学 名誉教授)	1
3. 医療(病院)情報システム管理	笹川 紀夫 (広島国際大学 健康科学部医療経営学教授)	1
合計		3

V. 卒業論文		
卒論指導	高橋 長裕 (ちば県民保健予防財団総合健診センター 顧問)	1
	相馬 敏克 (元岩手県立中部病院 事務局長)	
合計		1
総計		49

* 都合により、カリキュラム・講師等は、変更となる場合がありますので、ご了承ください。